

袋と出し取り 崎原小中

体験することによって、郷土の自然の豊かさや自然を生かした産業について学び、郷土を愛し、誇りに思っ児童生徒を育てることが目的。

同校では郷土の素材・人材を生かした授業

今年度は先月22日に炭の材料となる木を学校林から伐り出し、27日に窯への木入れ・火入れを行い、今月3日に5日半燃やし続けた火を消し、完成となるこの日を迎えた。火を燃やし続けるために、この日はまず窯をくたという。この日はまず窯をくずし、レンガと土を除いて炭を取り出せるように準備。炭が姿を見せると「あつ、白いものが見える」と歓声が上がった。一人ずつ



窯から出来上がった炭を取り出す生徒たち

今年で3回目という中学3年の辺木颯太さん(15)は「今年もけっこういい炭ができてよかった。一大行事なので準備も大変だったけど、なんとか無事にできてほっとした」と話した。妹で小学4年の美咲さん(10)はみんなと協力して炭を取り出した、運んだり



炭を砕いて土のうやビニール袋に詰め

袋と育って

村

以降は50万円の土産祝い金を支給している。

請島の魅力、ショート動画で

アフターコロナ見据え発信 ターゲットHD

瀬戸内町と地域活性化連携包括協定を結ぶ同町古仁屋の「㈱TARGET HOLDINGS(ターゲット・ホールディングス)」。立石聡明代表取締役社長)がこのほど、奄美大島・請島ブランドフィルムの映像を公開した。島内でロケを行い、ドラマ仕立ての高精度動画を制作。同社が運営する請島情報サイトで配信され話題を呼んでいる。

「まなざし」は3部作で、現在エピソード1もつれた関係性を公開中(約2分)。ストーリーは請島を旅する外国人カップルと日本人夫婦の出会いから始



請島の魅力を伝える動画が公開中(サイト表示映像から)

まる。来年1月にはエピソード2、3を連続公開するという。

動画は経済産業省補助事業で制作。インターネットやSNSを通じて同町離島エリアの認知度と好感度の向上を図るほか、新型コロナウイルス感染症終息後の誘客も見据える。

同社は「請島の魅力を映像化。多言語などで世界配信して地域ブランドの強化につなげたい」としている。